

参加申込

下記のURLかQRコードよりフォームにアクセスいただき、必要事項をご記入の上、お申込みください。

<https://forms.gle/TcxpNPcFx1mceqWv5>



県内常設の木育施設



沖縄県 県民の森

本島中南部地区から車で1時間程度に位置する「県民の森」。木のふれあい館（1F）に木育ひろばもリニューアル！森のふしぎ館では実際に持ってみたいり計ってみたいりしながら樹種による木の重さ実際に感じる事ができます。森に学び、森で遊ぼう！

沖縄県恩納村安富祖 2028

- 開園時間：9:00～18:30（4月1日～8月31日）
9:00～17:30（9月1日～3月31日）
- 休園日：毎週月曜日
- TEL:0980-967-8092 ※県民の森管理事務所（総合案内棟）



やんばる 森のおもちゃ美術館

世界自然遺産の森にある「やんばる森のおもちゃ美術館」は、イタジイやリュウキュウマツなどやんばるの森で育った木のおもちゃで遊ぶことができる木育推進ミュージアム。2023年には全国の姉妹おもちゃ美術館とともにチルドレンズミュージアムアワードグランプリを受賞しました。2025年初夏、現在の4倍の大きさに拡大リニューアル！木で模したゴーヤーやナーベラーの収穫遊びや草編みワークショップなど木のおもちゃと遊びを通して“沖縄”を世界中に広めます。

沖縄県国頭村辺士名 1094-1 国頭村森林公園内

- 開館時間：10:00～16:00（木曜日休館） ●アクセス：道の駅「ゆいゆい国頭」から車で10分
- 入館料：一般800円／こども600円／1歳未満は無料 ●TEL：0980-50-1022



令和6年度 沖縄県ウッドスタート推進事業

森のめぐみの 保育環境セミナー in 沖縄

2024年8月8日(木) 13:30～16:30 | 沖縄女子短期大学 大教室

世界自然遺産の森のおくりものを沖縄の子どもたちへ
“木育”を真ん中に置いた新しい保育の形を考える

木育とは、木材や木製品とのふれあいを通じて、木や森への親しみを深め、木材の良さや利用の意義を学んでもらうための活動です。木育の重要性や具体例についての専門家のお話や、木育を実践されている保育現場の方からの報告をいただくセミナーを開催します。子どもたちの日常である「おもちゃ」「お散歩」「園舎」などから、木育と保育環境について共に考え合ひましょう。

参加無料
・
要事前申込



森のめぐみの保育環境セミナー in 沖縄 プログラム

時間	プログラム	登壇者
13:30	開会挨拶	沖縄県 農林水産部 部長 前門 直美
13:35	子どものためのウッドスタートと保育	認定 NPO 法人芸術と遊び創造協会 理事長 多田 千尋 氏
13:55	沖縄の木育の現状と展望・森林環境譲与税の可能性	沖縄県 農林水産部 森林管理課 主幹 大城 慎吾
14:10	子どものための沖縄の森林の魅力・課題	琉球大学 森林政策学 教授 大田 伊久雄 氏
14:25	森のめぐみの保育実践の勧め	沖縄女子短期大学 児童教育学科 講師 名渡山 よし乃 氏
14:40	休憩	
14:50	森林環境譲与税と保育実践事例	国頭村
15:00	森林環境譲与税を活用した木育取組事例	
15:10	パネルディスカッション 「新しい時代の木育と保育の展望」	パネリスト: ●琉球大学 森林政策学教授 大田 伊久雄 氏 ●沖縄女子短期大学 児童教育学科 講師 名渡山 よし乃 氏 ●西原保育園 園長 糸数 国浩 氏 ●やえせ北保育園 園長 川武 啓介 氏 ファシリテーター: ●認定 NPO 法人芸術と遊び創造協会 理事長 多田 千尋 氏
16:00	質疑応答	
16:25	閉会挨拶	沖縄県 農林水産部 森林管理課 課長 宇地原 健志
16:30	閉会	

登壇者情報



多田 千尋

(認定 NPO 法人芸術と遊び創造協会 理事長)
特定非営利活動法人芸術と遊び創造協会理事長、東京おもちゃ美術館館長。乳幼児から高齢者までの遊び・芸術によるアクティビティケア及び世代間交流の実践・研究に取り組む。2010年より林野庁の補助事業を受託し、2013年からウッドスタート事業を開始、「木育」を全国的な国民運動に押し上げる。木育のシンボルである「おもちゃ美術館」は現在全国に12館創設され、赤ちゃんからお年寄りまでの多世代交流型の木育推進の牽引役も務める。



名渡山 よし乃

(沖縄女子短期大学 児童教育学科 講師)
母の故郷である国頭村辺土生まれ。両親の転勤に伴い3歳から那覇市で過ごす。京都女子大学卒業後、那覇市立幼稚園教諭として採用され、那覇市及び県教育庁義務教育課指導主事、公立こども園園長を経て、後輩育成のため早期退職し現在に至る。セミナーでは、学生と一緒に木育について勉強中！



糸数 国浩

(西原保育園 園長)
短期大学卒業後、横浜にて保育士として保育に携わる。その後沖縄に戻り、地元西原町の西原保育園で保育士・主任保育士を経て2022年度より延長に就任。園は身近な自然に触れる生活環境を大事にしており、園舎も様々な種類の木材を使い、木のぬくもりを感じる作りになっている。その他、積木あそびなどにも力を入れるなど、子どもたちが生活・遊びの中でも木に触れ親しむ環境の大切さを感じながら保育を楽しんでいる。



大田 伊久雄

(琉球大学 森林政策学 教授)
琉球大学農学部教授。沖縄県森林審議会会長。米国オレゴン州立大学で森林学を学ぶ。世界の森林に関する歴史や法制度、経済活動についての研究を通して、森林の保護と利用のより良いバランスを究明している。環境としての森林と資源としての木材はいつの時代も人間にとって重要であったが、現代社会では人と森が切り離され森林の恩恵が忘れられつつある。もっと自然と触れ合い、森を敬い森を楽しむことをより多くの人に知ってほしいと日々考えている。



川武 啓介

(やえせ北保育園 園長)
1978年沖縄生まれ。高校卒業後に上京。2007年社会福祉法人設立・保育園の運営のために帰郷、2008年4月やえせ北保育園開園、2011年に園長就任、2018年頃から、保育園の環境整備為に木工を始め、様々な物を作っている。

県内のウッドスタート宣言

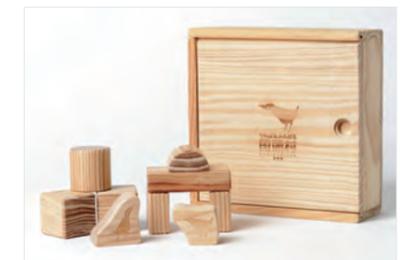
沖縄県

2023年1月、沖縄県が県をあげて木育を推進していくことを宣言する「ウッドスタート宣言」をおこないました。これにより、沖縄県と芸術と遊び創造協会とが連携・協力しながら、赤ちゃんの頃から良質な木のおもちゃを通じて五感で木を感じ、木のファンを増やす取り組みや環境整備等をおこなっていきます。



国頭村

国頭村は2013年にウッドスタート宣言をし、木育に力を入れてきました。村内で生まれた子どもにはリュウキュウマツの積木を誕生祝品として贈呈し、小学校に入学する子ども全員に国頭産材で作った机・イスを無償で提供しています。高さは調節可能で、6年間同じ机を使い、卒業時には自宅に持ち帰れます。また、村内のやんばる森おもちゃ美術館は2025年初夏に増築拡大する予定です。



木育キャラバンの予定



赤と緑の木箱に、
温もり溢れる良質な「木のおもちゃ」と「遊び」を
たっぷり詰め込んでお届けします。

あなたの町に
おもちゃ美術館がやってくる！
沖縄県産材の木を五感で楽しもう！

